一

談綺

雜

へ 5
1792

ワすれがたき船岩手の山より流
るゝ所雲遊の岳嘯そう川
の駅ふかく乃軒の栗を拾へと
ひつたなのうふことすでに九十年日
郭公元の古郷ふるさとふ
るさとも朝夕ふるさとにて
たゝ相樂伺吉まていろいろのみ
等躬らの子孫うゝ世家子自記

の反古ども蔵一冊るんやつ
うまもあり出て見れば出開ぬる
こゝろ子さるへいに夜のうちの
かりて枕子の是を写さて
えうるとは秋えうて心一の
國子いくらを花う書れ手ら
うみたさんうのうの
枕れう中子其世のえらい二巻

てへうと雲りうのうちの
ちうあり花や
花なきし橋と題れいせち
ひく猿子やうをいへる古新
の手子手をうつれるる
る花れくてなかこのち
ものうれう反古をなうらん
うさしうへう真のあを

はるきぬ人〳〵
ぬきのうしろもたるきぬへ
うんか

石井雨考迹

あらしさと秋やとしてわすれ也　芭蕉
つゝみかねのかすかと　清風
花ゝ立ちの人ぬれ田にうえて　曾良
ゆふ雲きよるし　二の夜れ　素英
楢紅葉ふ人のけうえあ笹花と　風
鵙乃ほをくるいるくの　風流
ふるとうよる石ゝ　英

山[illegible]とのれる[illegible]に無をぬる　蕉
わつらなる[illegible]を[illegible]徒毎に[illegible]を　流
秋田酒田[illegible]酒田[illegible]　良
[illegible]家おれと　蕉
葉[illegible]しの雷を恐て　風
[illegible]美人[illegible]形おそろして　良
雷まり[illegible]日を誓ひつのし　英
入月や東酒のうこ行くもろく　風

屠[illegible]牛ゆふる牛[illegible]石　蕉
[illegible]鮎[illegible]　英
去[illegible]牛房芽[illegible]　良
蛙寝[illegible]かりわらん　蕉
[illegible]の名[illegible]　風
[illegible]一両白　良
[illegible]松　英
[illegible]天[illegible]　風

えんふう窟に法華をきく　蕉
勅をうけ給はる位をうしし　英
うつくしきせむる炬乃うち　良
一さとは射向の袖をうつす　蕉
かうれはのそうみやしおれ　風
夕月夜宿とう見ゆるあ　良
ちこちうの男やぶりをうん　英
たまさに五穀のうしろ枕の露　風

満ちのうちの金山の神　蕉
行人乃ふるさとを尋ねて　英
そのかさなる川の家　良
鳥ふとうれをぶりの去り　風
夜ふあとに巣ふをく鳥　英

おきふの麻ふあらしの家ゝ　清風
物ゝえのあれゆめのちの蓑　芭蕉
ゆく翅いとゝ罠のかゝん　素英
石ふまかゝに能こゝの月　曾良
蔦ゝよりは青ゝ橘の新もゝ　蕉
火ゝ氣ゝ氣ゝこゝゝ林ゝゝゝ　風
きのふ迄食ゝゝゝ　良

雷ゝゝゝ方日ゝ杉のゝゝゝる　英
ゝゝゝる籠ゝゝ巣ゝゝゝ　風
ものゝゝゝ色ゝゝ地ゝゝ色ゝ　蕉
いゝゝゝ美女ゝ生ゝゝゝ　英
色におゝゝ市ゝ争ゝ　良
秀句ゝ秋のゝ種のゝゝ　蕉
碑ゝ寝ゝゝゝゝ月　風
蓬ゝゝ舟ゝゝゝゝ　良

つのはるる薪ゐるる須　英
炭俵ゐ新るるのるる人も来あ　蕉
冬ゐるる炭焼きるるの頃　風
まつられる足もるるみてるる蛙　英
菅のアたれてせるる紙ゐ屋　良
るるの只梓るるゐるる所をさる　風
今ゐるるるる世を絞るるる宿　蕉
三の宮いやの比帳るるきあれる　良

鳥はるるやるる月の十五夜　英
舎利るるゐ博打の枝の汐るる　蕉
樹かけるる三に乃樟の木　風
るるるるるるるるるる夫るて　英
父ゐ孫寝を泣あるる秋也　良
るるゐるるるの庵る北のあし　風
るるるる坐禅るるる石ゐ　蕉
盗人の薄に天てる山のるる　良

葉さかりしの行くさく　英蕉

整はしき寺に猿にすくんん　風良

くもり空行くき夜の詩ないへ　蕉

あるとる身八遺書寺の鐘撞く

さるる餌ゆくすきの山ち

月下の飲ま寒りめく　士朗

行はるるめ月の歯ふるる歯ふるる

くるくる動てくるのみまるあるる

月宮と脂多くもくるる光を使ん

ちるるもひるれなるる月とも　盛美

駒牽よ乗れに赤乃沼るる

奈保子に松のるるる　春丁

名月の保原ん宮の酔　一茶

ねるるるる小笠ちるる私国弘　浙江

苅萱めるるいちきれて行くる　素崎

[illegible] 心祇

蓮華の[illegible] 丹雅

[illegible] 老阿

一紙の[illegible] 百都里

[illegible] 恒丸

あ[illegible] 太節

人[illegible] 湖中

秋の夜[illegible] 蒼虬

食[illegible] 一瓢

[illegible] 春樹

山鳥[illegible] 仙骨

泊瀬[illegible]

[illegible] 椿堂

[illegible] 夯貨

いつ[illegible] 竹有

十二[illegible] 車雨

未だ[illegible]の人[illegible]奪れ[illegible]　國村

[illegible]の[illegible]ふ[illegible]ふ[illegible]ける　夫山

木[illegible]のかの[illegible]　斗月

薩佛[illegible]ら[illegible]ら[illegible]倉[illegible]　蕉雨

旅人に[illegible]なら[illegible]　素蘿

[illegible]やら[illegible]あや[illegible]　栖翠

花[illegible]ら[illegible]　琳山

[illegible]の[illegible]知[illegible]　東子

酩酊歌　海印菴麟

杖[illegible]柱杖に[illegible]山の嵐　南山

あ[illegible]嵐[illegible]　子秀

[illegible]の本の役[illegible]　三醒

山[illegible]月[illegible]ぬ古[illegible]　東蔚

鴨[illegible]野[illegible]　左量

いな[illegible]酒[illegible]　杉居

蘇[illegible]　詠帰

[illegible] 五渡
真先み芽の輪とてる乳母ゑる 糸室
のちの月松殻の茎ゐる枝之ゑ 馬令
雪に鶯ちてゑる女ゑ子 卜山
蒲ち英の咲て標形の芝花 荷良
[illegible] 角子
都みもゑ[illegible]ん之布みん 任只
咲ゑ[illegible]ゑみゆゑ之部 梅間

[illegible]の殺ゑて仕ゑ[illegible] 輪之
古ゑ世ゑ[illegible]ゑ[illegible]ん杉系 双樹
[illegible]水田仕ゑ[illegible]の色 董語
火串さ天ゑ木の日行ゑ 一雨
玉さ[illegible]ゑ[illegible]と咲ゑ八仁 和井
麦秋ゑ[illegible]れ茅の伝形系 至長
新酒や[illegible]の注ゑ[illegible] 柱梨
形[illegible]ゑ[illegible]と張ゑ枝 素迪

松風の印象をうつしたる月　稻翠
蕭条たる寂寞の弱　烏頂
そそるものの寒ひ入て居たる　雄尾
片隅より沙弥と十数人　官鯉
出られてゐる蕭条　狙顎

江戸の夕べ

以前の氣にあるすがあしをれ　柳荘
なるものあるを言ふ　布言

ゆるゝ雲さゝやかる山ばるゝ　白圭
薄紅の花の印象をうつす　蕚市
あれ〳〵と杯へ注げる夜の門　田蛙
なるべく行乳沈んで入梅ふる　杉長
萩に寄る人をよろめんめれ　里雀
咲うるもし梅の實をる風うれ　梅舎
なるべくに思ひ出さる　樗囮
家ほとの沒もて来る言ふ　雄岡

湖海のあなたにけりすまひとる　宇洋

本母寺にて

たまのつくやさるんの子　兄直

入梅の蟬ないかるめる山もるし　猨彦

のぞかるる西の松をふとてはるる　空華

こゝろれ岩をのさむしたを指けの　東峨

まきまれそれらをやあの中　旧臺

沖の江に作の深いふをこの手ひ　竹岡

夏ふれい月先にてやみつゝ　理峠

月清きる松のたてたる秋みるう　鼠墨

ゝゝゝゝゝゝゝゝ小茅をゝゝを白茅中　松孺

言ゝしゝゝれ言ゝ来ゝゝゝ　遅月

あゝの家ゝゝかゝ居ゝ凍る　万左岐

巨燈ゝゝゝゝやゝのゝひゝゝ　東琚

閑古鳥あをゝ外ゝ色ゝゝし　素郷

六條海ゝゝてゝゝゝゝ　子直

ゝれい鼻ゝゝゝゝゝれ　長寿

岳格

推巳

南甫

之綱

琴雨

甘棕

子行

雨壱

茎空

雨塘

有斐

李堂

壺春

青莎

子固

道茂

物いとゝ山かつゝ年のこん紙　梅寿
本とゝあ原麻布江戸の外山ゝ　葛三
さもゝ[illegible]ゝさむさゝゝ住家歌　雉啄
片岡れゆゝへゝゝゝゝゝゝゝゝの乳　宋舜
子規二十九日の月ゝゝし　玉柄
みゝゝゝゝれ雪ゝゝて明のゝ　凡魯
ゝゝゝゝゝゝゝ亜女ゝゝゝゝの羊の乳　一良久
雪ゝゝひゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ　五翁

鼠さゝゝ家ゝのゝゝゝ紙衾　桐栖
雪ゝの雨ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ　宋彦
いゝゝゝの霜に物ゝゝゝゝゝ白　玄々
雪ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ　石鯤
あゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ　立樓

日ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
寒きゝゝすゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ　樗堂
ゝき家稚ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ　美景良

もゝちゝのそこふつてくし　尾全

氣ちゝの笹ふりあるく二月哉　遠甚

ふえて春れそとふれ時ふる　志白

川あれいちゝと雨をうめの花　掃月

爆掃くさゝむと年ゝ　雪雄

苔の雲人ゝ行きちよ　北岱山

岸ふえて水にゝゝちの川　斯逸

ぬみうんて芹摘む女風ふく　原水

寳ゝあにふるゝんあれし　一鳳

あゝ行よ高のゝゝの月ゝ　北年

ちゝゝゝ松ゝゝ　玉洞

小雀の中ゝ法寺をゝれゝ　文国

秋ゝゝた佛殿のゝゝけ　呂臺

あふゝを中に吹ゝむ彩雲哉　風沙

張ゝゝもきゝゝふゝ雪ゝゝき　保柳

夜ゝゝ海にゝゝつゝゝ　阜池

蕣や菜にかくして酒を寫す　素兮

寒いちとあたたかなれあのかる　春魯

鬼灯や七ツ八ツ赤ふくれ　双魚

しらくと雪むれのすめる　三径

ぬくくと正月うれ出る屋　菓丈

うらうらの屋をうめる　文柳

笹ゆたくゆ似つすれ　玄耕

山茶花の陰にうふかする　鬼月

きりのたるわさとたゆみ　魯陰

以りとちれかるのうまる　五雄

枯をそれたるのうまる　也好

芋そそまるゆ枯をそそる　鵜更

きほそその笹をかれつらき　秋天

うほそかや月星ゆきの雪　丈彦

雪後あそそむそそ美るそそ　与人

秋ゆ蕎の姑ふそそ　冥々

狩人の犬ぞねむるやえぞの山　亀遊

うゑしのれてをるや板屋の庭もる　亀明

秋のなを踏てはるぬるものゝ　葛羅

うれてゆく秋のうらんみてゝるる　文雄

橋ゆゝてゝうるの秋や越の古戦場　白羅

いゝてのん花ゝ言葉のあゝもち　藍水

京ゆゝの山秋栗やくしれる　雞踏

乾魅や花ゝ秋の極ゝ形　北溟

花ゝ山ゝ高ゝ行ゝ住ゝ　完来

猫ゝ後相ゝ乱ゝ刷ゝ　午心

象潟ゝ畫の雲ゝ不ゝ　長翠

ゝゝ行ゝ海ゝの松ゝ　文卿

箱根の山海ゝ

保ゝ人ゝ人ゝ　雨考

紫雲ゝ松ゝ　平角

鶯なる垣根の梅の咽ひ初てこのれ　楚山

花ちくとみゆる時のうつゝかな　清女

うゝ秋や野とぢの花のうらけ紅　麦宇

河鴨の森るゝ水いるゝ乃　巣北

乙二侍郎を佐をゝめて亞江
はの月ゝ生ゝゝゝ

雨ゝ雨のちれさゝゝ陽まし　由都留

鶴鶏の中ゝふゝゝ雲おゝれ　石海

八幡宮出開帳、特賞用

清水　雨子

都合不知ゝ人ゝ数、ゝ人の
ゝゝゝゝゝゝ山清水の大ゝゝ
ゝゝゝゝ梅ゝ平ゝ
ゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝ

[illegible]
富の瓶乃[illegible]
[illegible]
月のいさ[illegible]
突[illegible]舟[illegible]
鷺乎[illegible]
[illegible]

出嘯

二　乙
二
二
二
二

不破の関屋を[illegible]越
袖[illegible]
[illegible]草[illegible]
[illegible]零[illegible]狩倉に
[illegible]火[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

嘯二
嘯二
嘯二
嘯二
嘯二

[illegible]

哥二、哥二哥二哥

天羽衣秋を雁のなくなく

僧達に花の枝をおられて

[illegible]

陰[illegible]月に照る山の影

さゝら[illegible]蟻さゝらん

小車の人乃鼎を[illegible]

哥二哥二哥二哥二

酒あたゝめ[illegible]

出羽[illegible]

[illegible]

子代まで[illegible]亀の價を言つゝ

[illegible]

柿の[illegible]月に[illegible]

[illegible]

都[illegible]

哥二哥二哥二哥二

蘭さくらのいとはるかぜのかを
とはるゝをうぐいすのなきてう
ゝをかすみたるにこゝろもと
をはるゝれば馬のかしらもこゝ
ろにあくがれてかへるさをわす
れ

二月二日

角太川道遥

さくらゝれハはるゝをうらゝ

出嵯

世をはるかぜのかをひとうめのゝ
ゝあるこの浦ゝあるゝとゝ
いへ数ゝ和あるゝ集ゝをゝ
ゝはるゝ翁の俳句をはるゝゝ
ゝのこゝ心ゝ小のゝて
ゝうゝ桜ゝうゝわゝて
梅ゝいとゝゝ心ゝ
ゝ撫ゝゝゝゝゝ

ひさ屋をそうつすとみるは
まつ浦の我がしらんかて
なにはめけるなみの長
いきしへ人あまをとこの色をふと
見ぬもむかしの秋の夜ひわ
ものをもとめ

隨齋第文跋

細道遺稿繫橋　一冊　已刻

蕉翁獨吟五歌僊考　一冊　刻成

六日菖蒲　二冊　近刻
立圃翁文集

もとの清水　二冊　近刻
一柞梨一著

江戸馬喰町二丁目
永壽堂
大坂心齋橋唐物町
文金堂

西村屋與八板

河内屋太助板